

近代の仏教思想と日本主義

石井公成監修 近藤俊太郎、名和達宣編



仏教者や知識人たちは、「日本主義」へ傾倒していく時代といかに向き合い、いかに仏教を再編したのか。その思想的格闘の軌跡を追う。

2020年9月刊行

【目次】

仏教思想と日本主義への入射角——序にかえて (近藤俊太郎)

(石井公成)

第一部 親鸞・聖徳太子

真宗大谷派の教学と日本主義

(名和達宣)

——曾我量深を基点として

——梅原真隆を通して

(内手弘太)

聖徳太子と日本主義——金子大築を中心に

(東 真行)

——井上右近・黒上正一郎・養田胸喜を中心に

(中島岳志)

第二部 日蓮・禅

日蓮主義と日本主義

——田中惣学における「日本による世界統一」というビジョンをめぐる (ユリア・ブレニナ)

日蓮主義と日本主義との衝突

(クリントン・ゴダール)

——日中戦争期における東亜連盟運動 (ステファン・グレイス)

鈴木大拙『日本の靈性』再考 (天竹 晋)

——仏教を超える新「日本宗教」 (飯島孝良)

第三部 教養・修養・転向

本居宣長と日本主義 (齋藤公太)

——暁鳥敏による思想解釈を通して (碧海寿広)

日本回帰の思想構造——亀井勝一郎の場合

(碧海寿広)

▼A5判・上製カバー！572頁・本体六、五〇〇円十税

吉川英治と日本主義——修養する武蔵と親鸞 (大澤絢子)

日本主義の主体性と抗争 (栗田英彦)

——原理日本社・京都学派・日本神話派 (近藤俊太郎)

——親鸞とマルクス主義 (近藤俊太郎)

——まともと展望 (近藤俊太郎・名和達宣)

——あとがき——課題としてのX (名和達宣)

——執筆者紹介

◆著者略歴

石井公成(いしいこうせい)

一九五〇年生まれ。専攻は仏教とその周辺文化。駒澤大学教授。主な著書に『東アジア仏教史』(岩波新書、二〇一九年)がある。

近藤俊太郎(こんどうしゅんたろう)

一九八〇年生まれ。専攻は仏教史学。本願寺史料研究所研究員、龍谷大学非常勤講師。主な著書に『天皇制国家と「精神主義」——清沢満之とその門下』(法藏館、二〇一三年)がある。

名和達宣(なわたつり)

一九八〇年生まれ。専攻は日本近代思想史・真宗学。真宗大谷派教学研究所所員。主な論文に「親鸞教学と京都学派の交流する場所——曾我量深を基点として」(『宗教哲学研究』第三七号、二〇二〇年)がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館	
石井公成監修、近藤俊太郎、名和達宣編	
近代の仏教思想と日本主義	
ISBN: 978-4-8318-5560-2 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

思想史・仏教